

市長施政方針「いのちと暮らしを守る」を最優先に 課題はコロナ対策、教員の働き方など

2月28日、三月定例市議会
で党市議団を代表して工藤
しゅうじ議員が代表質問をお
こないました。

福田晃市長は、2022年
度施政方針で「いのちと暮ら
しを守る」ため新型コロナ対
策に全力で取り組むと表明し
ました。諸課題では、こども
医療費の現物給付の拡大、医
療的ケア児に対する保育・教
育の充実、少人数学級の前倒
し実施などが示され、党市議
団は評価するとともに、22
年度予算の特徴と今後の予算
編成の考え方について市長の
見解をたきました。

市長は「引き続き市民のい
のちと暮らしを守るため、臨

時交付金を活用し補正予算
を編成するなど、適切な支
援を検討する」と答弁しま
した。

教育現場の改善を求める

教育長は教育行政方針の
なかで、「検証テストで子
どもたちの苦手を把握し、
授業改善に取り組む」と表
明しました。



テストに
頼ることこ
そが問題で
す。教育長
に対し、
「大人数の
子どもたち
を相手にし
ながら、過

大な業務をこなすため、授業
研究などの時間がなく、子ど
もたちの様子が見えてない証
拠だ」と指摘し、検証テスト
の中止を求めました。

さらに教員の働き方の実態
では、今年度の小中学校教員
の超過勤務時間は、月約43
時間となっており、時間外の
多さについて「小中合わせて
1,300人の教員が、コロ
ナ禍で働く保健所の職員と同
じ超過勤務をしている。この
状態は異常だ」と指摘し改善
を求めました。

補聴器の補助制度を検討

加齢性難聴者に対する補聴
器の補助制度を創設するよう
求めた質問に対し、市長は
「検討する」と答弁しまし
た。

3月市議会 代表質問の報告

コロナ対策や市職員の働き方改善を要望

コロナ感染拡大を収束するためには、3回目のワクチン接種を迅速に進めることと合わせてPCR検査を充実させることが求められます。

市長は「2月26日現在3回目ワクチンは、8万7千人（約28%）が接種済み。3回目の接種完了は、本年5月末になる予定」と答弁しました。またPCR検査キットが不足



し、十分な検査ができていないことを指摘し、改善を求めました。市長は「市内61医療機関で、1日に約400人の検査が可能。一方で、必要な薬や検査キットが不足ぎみであり、大野知事から国に対して要望している」と答弁しました。

さらに事業者支援について「不備ループ」などで、支援が行き届かず困っている事業者の実態を示して、市独自の10万円の給付金を再支給することを求めました。

市職員も超勤が常態化

保健所職員の1人当たりの月の平均超過勤務時間はおよそ45時間、改善が求められます。また、2021年度、職員全体では2.5時間の超過勤務が増えています。そこで市職員の働き方改善と増員を求めました。

市長は「会計年度任用職員の増員も含めて検討していく」とのことでした。

女性活躍と

管理職の担い手確保を

管理職を目指す職員が減少しています。超過勤務が常態化してい

ることや、休みが取りづらいことがアンケートでわかっています。そこで働きやすい職場環境を整備し、女性活躍と管理職を確保することについて市長に要望しました。

再生可能エネルギーの活用促進を要望

米農家の生活と農地を守ることを、さらには再生可能エネルギーを推進することができる「営農型太陽光発電」が注目されています。そこで、党市議団は加須市の取り組みを視察し、資金調達を支援するなど、営農支援について要望しました。

3月議会傍聴記

市独自の改善努力が示されない

日本の教育予算は、OECD中、最低ランクだということは、周知のことだが、その象徴である先進国に類を見ない多人数学級の詰め込み教育が、子供たちの発達を妨げている。当市がゴリ押しで進んでいる小中一貫校は、その象徴だ。工藤議員は、選別・詰込み教育の表れである「越谷市検証テスト」中止を求めたが、理由なく拒否。また教職員の働き方改革改善などの求めにも、独自の改善努力は示さないなど、頑なな教育長の姿勢は許

せない。

「ソーラーシェアリング」は、加須市の取り組みの実例を挙げながら、実現を迫ったのは良かった。しかし、農薬行政改善とCO2削減に有効なエネルギーの地産地消の相乗効果のある施策を具体的に求めたのに、市が目向けようとしていないことに、失望を超え怒りが湧いた。

(弥十郎在住)

松村一夫

付記

傍聴席の「聞こえ」が良くなりました。ぜひ、傍聴に足をはこんでください。

リレーコラム⑰

―越谷の移り変わり―

◆1947年、わたしが生まれた大沢町は、自然豊かな環境でした。春は梅や桃の花、夏は魚や虫取り、元荒川で泳ぎも覚えました。小学校は新国道と呼ばれた(旧4号)道路沿いにあり、校舎の裏側には池を挟んで中学校がありました◆1954年、2町8村の合併で越谷町に、4年後には越谷市となりました。急変する越谷で「まちづくり」という名のもとに乱開発。元荒川は工場排水で汚され、田畑は住宅に。一方、人口急増による学校、保育所などの不足。自然環境を守り、施設の新増設や福祉の充実が求められていました◆1958年、第1回の市議選で日本共産党が初議席。第3回の市議選以降、今日まで1〜4議席を獲得。昨年の市議補選で1議席増の5議席になりました。市長選挙では1973年、社共統一で革新市長が誕生。4年後、自民・保守市政が5期20年。1997年、「市民の会」が民主市政を誕生させ、以後6期24年、昨年の市長選でも新市長に引継がれました。開発よりも自然と市民の暮らしを大切に市政を願っています。

元越谷市議 松沢勇

topics

ロシアによる
ウクライナ侵略に抗議

3月1日、南越谷駅で「越谷革新懇」が「ロシアの侵略に抗議する」宣伝をおこないました。



3・5 東海第二原発再稼働反対

3月5日、越谷駅で「さよなら原発 in 越谷実行委員会」が「東海第二原発の廃炉」を訴え、集会とパレードをおこないました。



政府は核兵器禁止条約の批准を

3月7日、南越谷駅で「原水爆禁止越谷協議会」が「日本政府は核禁条約批准を」と、宣伝しました。



憲法改悪を許さない署名活動

3月9日、北越谷駅で「憲法を守り暮らしにいかす越谷共同センター」が署名活動と宣伝をおこないました。



お知らせ

◆ロシアによる侵略戦争
反対市党宣伝

日時 3月15日(火)
午後5時～
場所 新越谷・南越谷駅

◆梅村さえこ市党宣伝

①日時 3月22日(火)
午前7時～
場所 新越谷・南越谷駅

②日時 3月23日(水)
午後2時30分～
場所 新越谷・南越谷駅

③日時 3月23日(水)
午後3時30分～
場所 北越谷駅

◆民主市政をめざす

越谷市民の会講演と総会

日時 3月23日(水)
午後6時30分～

場所 中央市民会館

講演 佐々木新一弁護士